

キヤノン製EOSデジタル一眼レフカメラ用
ニコン製 デジタル一眼レフカメラ用
ソニー製デジタルカメラ用

共通取扱説明書

※キヤノン用、ニコン用、ソニー用 3タイプ共通の取扱説明書です。
Air1 自体は、キヤノン用、ニコン用、ソニー用はそれぞれ個別の製品です。

ニッシン製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。
また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの取扱説明書をご参照ください。

コマンダーAir1 (キヤノン用/ニコン用/ソニー用) は、ニッシン独自の電波式ワイヤレスTTLシステム「NAS (Nissin Air System)」の送信機です。NASの受信機能を内蔵した機器を3グループ (最大21台まで) に分けてコントロール出来ます。なお、NASは他メーカーのワイヤレスTTLシステムとの互換性はありません。

対応カメラ

最新の対応カメラ一覧表は、
<http://www.nissin-japan.com>でご確認ください。

NAS ニッシンエアシステム (NAS) はニッシンストロボとニッシンコマンダー専用設計されたシステムです。

- 2.4GHz帯 (ISM / バンド) ※技術基準適合認定取得済み
- 使用可能範囲: 最長30m (使用環境によって異なります)
- 金属、ケーブル類、壁、2.4GHz帯を使用する他の機器などによって、NASの使用可能範囲が制限される場合があります。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。

警告

- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 人の目の前 (特に乳幼児) に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力障害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入った場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。

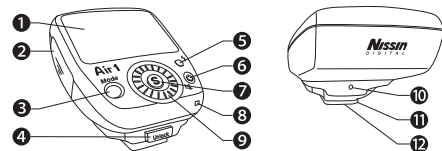
注意

- 電池を高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。

その他の注意

- ペンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れたひどときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、液漏れ防止のため電池を抜いて保管してください。

各部名称



- | | |
|-----------------------------|---------------|
| ① LED表示パネル | ⑦ セットボタン |
| ② 電池カバー | ⑧ ストラップ取付穴 |
| ③ モード選択ボタン | ⑨ セレクトダイヤル |
| ④ シューロック/ロック解除ボタン | ⑩ オートフォーカス補助光 |
| ⑤ パイロットランプ | ⑪ 取付足 |
| ⑥ 電源オン/オフボタン (ピープ音オン/オフボタン) | ⑫ シュー接点ピン |

基本操作

電池の挿入

使用できる電池: ニッケル水素電池 (エネループ他)、アルカリ乾電池

- 電池カバーを図の①、②の順番に開きます。
- 単4形電池 2本の＋の向きを合わせて正しく挿入してください。
- 電池カバーを①押してから②スライドさせて閉めてください。

① 注意

電池は、同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。同時に交換することをお勧めします。また、充電電池の場合は、同時に充電した電池をご使用ください。

省電力モード

本機は、電池の消費を防ぐために、省電力モードを備えています。アイドル状態から4秒後にLEDランプが暗くなり、2分後にLEDランプが消灯します。省電力モード時はパイロットランプが2秒おきに点滅します。ボタンをどれか押すと、省電力モードから復帰しLEDランプが再点灯します。本機の操作を60分間行わなかった場合は電源OFFになります。

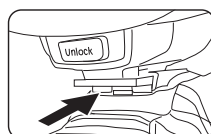
リセットの方法

モードボタンを5秒間長押しすると、本機の全ての設定はリセットされ工場出荷時の状態に戻ります。(ペアリングは解除されません。)



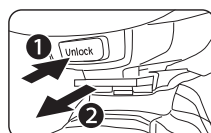
カメラに装着する

- Air1の取付足をカメラのホットシューに挿入します。
- 奥まで差し込むと、ロックピンでしっかり固定します。



カメラから取り外す

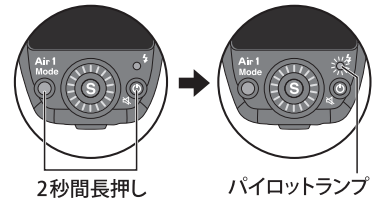
- [Unlock] (ロック解除ボタン) を押しながら、②取付足を引き抜きます。



△ キヤノン製カメラ、EOS 1DX、EOS 7D mark II、EOS 5Ds、EOS 5DsR、EOS 1DX Mark II、EOS 5D Mark IV をお使いの方へのお願い。

上記モデルに Air1 をお使いになる場合は、そのままですと、TTL 調光が正常に行われず適性露出になりません。専用モード (モード II) に切り替えてご使用ください。

- 電源がオフになっていることを確認して下さい。
- 「モードボタン」と「オン/オフボタン」を同時に2秒間長押しすると、パイロットランプが点滅します (オレンジまたは白)。これで専用モード (モード II) に切り替わりました。
- オン/オフボタンを5秒間長押しして電源をオフにしてください。
- 取扱説明書を参照してペアリング設定を行なってください。



設定完了。電源をオフにしてください。

- ※専用モード (モード II) 使用中は後幕シンクロ機能はご使用になれません。
- ※専用モード (モード II) を解除する場合は上記と同じ手順を行なってください。
- ※マニュアル調光モードでご使用の場合はモードを切り替える必要はございません。通常モードでご使用ください。通常モードでは後幕シンクロ機能もご使用いただけます。

△ ソニー製カメラをお使いの方へのお願い。

Air1 ソニー用を、ソニー製カメラでお使いになる場合は、下記①、②の2点をご確認ください。

①カメラのフラッシュモードは「WL」にしてください。

Air1 をカメラ本体に装着して使用する際は、カメラに Air1 を装着し電源を入れた状態で、カメラメニューの「フラッシュモード」を「WL ワイヤレス」に切り替えてください。
※Air1 を装着していない場合、フラッシュモード「WL」は選択できません。また、強制発光など他のフラッシュモードに設定している場合は発光しません。

②HSSモードはパイロットランプを長押しします。

HSS (ハイスピードシンクロ) モードへの切替は、カメラに装着した Air1 のパイロットランプ (テスト発光ボタン) を長押しし、ランプが点滅する状態となれば切替完了となります。
Air1 を使用したワイヤレス撮影の場合、Air1 のみ切り替えればグループ内全てのストロボが HSS モードで動作致します。通常発光モードへ戻す場合も同じ手順となります。

ワイヤレス撮影を行う前に

ワイヤレス撮影を行う前に、以下の手順にしたがって、コマンダー Air1 (マスター) とストロボ (スレーブユニット) のペアリング設定を行います。

① 注意

ご使用前に必ずペアリング (ID) 設定を行ってください。

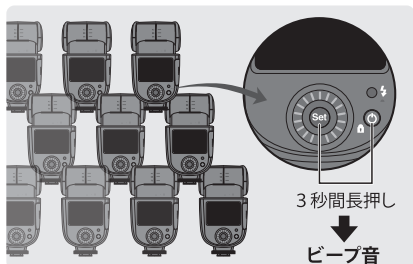
【ステップ 1】: 全てのユニットの電源をOFFにする。

【ステップ 2】: 以下の手順でペアリング設定を行います。

① スレーブユニット (Di700A など NAS の受信機能を内蔵するユニット) の設定

- スレーブユニットの「セットボタン (Set*)」と「オン/オフボタン ()」を同時に 3 秒間長押ししてください。

*i60A の場合は「機能ボタン」



2. ビープ音がなりますので、そのまま次に Air1 の設定を行います。

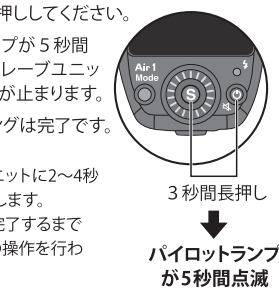
② マスターユニット コマンダー Air1 の設定

- Air1 の「セットボタン (S)」と「オン/オフボタン (O)」を同時に 3 秒間長押ししてください。

2. パイロットランプが 5 秒間点滅した後、スレーブユニットのビープ音が止まります。
3. これでペアリングは完了です。

※ Air1 はスレーブユニットに 2~4 秒遅れて設定が完了します。

※ ペアリング作業が完了するまでスレーブユニットの操作を行わないでください。



※ 複数台のスレーブユニットをお持ちの場合は、同様の操作を繰り返してください。

※ 21 台までペアリングできます。

※ 複数台のスレーブユニットを 1 台ずつ順番にペアリングする時間を短縮したい場合は、先に何台かのスレーブユニットを長押ししてビープ音を出してから、最後に 1 回 Air1 を長押しすれば、一度にペアリングができます。

① 注意

ペアリング設定は、電源をオフにしても設定が記憶されたまま残ります。テスト発光を行うときはコマンダー Air1 のパイロットランプを押してください。

Air1 の機能説明

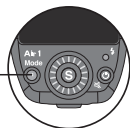
各モードとグループの設定について

Air1 には 3 つのモード (TTL/Manual/Zoom) があります。各モードごとに A/B/C 3 つのグループ制御が可能です。グループは ABC の比率を保ったままシフトすることもでき、また特定のグループを発光停止することもできます。

※ 後述「特定グループを発光停止する場合」を参照

● 各モードの説明

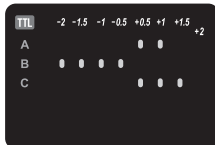
コマンダー Air1



【TTL】TTLモード

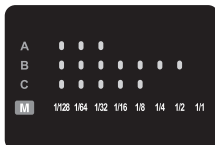
発光量を自動調節するモードです。調光補正により発光量を補正することが出来ます。

調光補正可能範囲
-2EV ~ +2EV



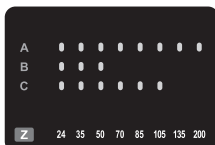
【M】マニュアルモード

発光量を手動調節するモードです。発光量の調節可能範囲 1/128 ~ 1/1 (フル発光)

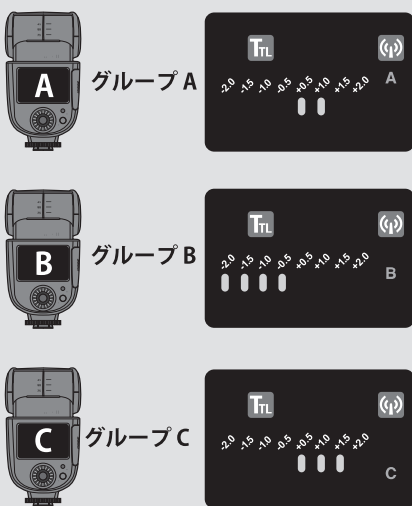


【Z】ズームモード

照射角を手動調節するモードです。調節可能範囲 24mm ~ 200mm



スレーブユニット 【例】: Di700A の TTL モード



「スレーブユニット」と「Air1」の設定

※ スレーブユニットの設定の前に「Air1」と「スレーブユニット」のペアリングが済んでいることを確認してください。

A. 先にスレーブユニットの設定をします。

- 使用するスレーブユニット (例 Di700A) をどのグループで使用するのかを設定します。(使用するストロボの取扱説明書を参照して A/B/Cの中から選んで下さい。)



2. 被写体から同じ距離にあるスレーブユニットであれば複数台を同じグループにセットすることも可能です。

B. 次にAir1の設定をします。

電源のオン/オフの仕方:

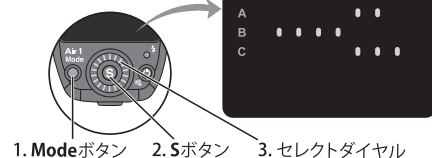
「オン/オフボタン」を押すと電源が入ります。手動で電源を切る場合は、「オン/オフボタン」を 3 秒間長押しします。

TTL モードでワイヤレス撮影をする場合

- Air1 のモードボタンを押して TTL を選びます。
- セレクトボタン (S) を押してグループ A/B/C/ABC を選び、使用するスレーブユニットをコントロールします。選択中のグループが点滅します。ABC が全部点滅しているときは 3 つのグループの比率を保ったまま値をシフトすることが出来ます。
- 調光補正を行う場合は、セレクトダイヤルを回してください。調光補正値は -2.0EV ~ +2.0EV まで 1/2EV ステップごとに変更できます。



コマンダー Air1



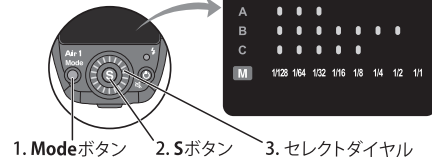
スレーブユニット 【例】: Di700A の TTL モード



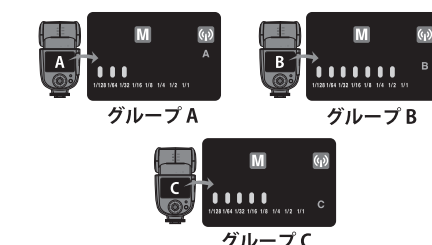
「M」: マニュアルモードでワイヤレス撮影をする場合

- Air1 のモードボタンを押して「M」を選びます。
- セレクトボタン (S) を押してグループ A/B/C/ABC を選び、使用するスレーブユニットをコントロールします。選択中のグループが点滅します。ABC が全部点滅しているときは 3 つのグループの比率を保ったまま値をシフトすることが出来ます。
- 調光補正を行う場合は、セレクトダイヤルを回してください。発光量は 1/128 ~ 1/1 まで 1EV ステップごとに変更できます。

コマンダー Air1



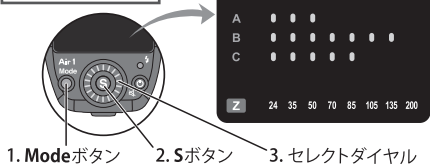
スレーブユニット 【例】: Di700A のマニュアルモード



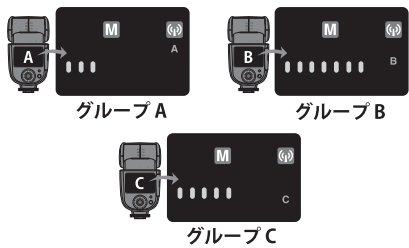
「Z」:ズームモードでワイヤレス撮影をする場合

1. Air1 のモードボタンを押して「Z」を選びます。
2. セットボタン (S) を押してグループ A/B/C/ABC を選び、使用するスレーブユニットをコントロールします。選択中のグループが点滅します。ABC が全部点滅しているときは3つのグループの比率を保ったまま値をシフトすることが出来ます。
3. 照射角を変更する場合は、セレクトダイヤルを回してください。照射角は、24mm/ 35mm/ 50mm/ 70mm/ 85mm/ 105mm/135mm/ 200mmに設定できます。

コマンダー Air1



スレーブユニット 【例】:Di700Aのズームモード



チャンネル設定の切り替えが必要な場合

無線LANや他の電波式スレーブなど同じ2.4GHz帯を使用している通信機器の干渉を防ぐために、送信チャンネルを変更することが出来ます。

コマンダー Air1

1. 「セットボタン (S)」を3秒間長押ししてください。
2. チャンネル設定画面に切り替わります。
3. セレクトダイヤルを回し、8つのチャンネルの中から1つ選びます。
4. 「セットボタン (S)」を押すと決定されます。
5. スレーブユニット (Di700Aなど) のピープ音が鳴ります。
6. チャンネル設定は完了です。



Air1 のチャンネルを切り替えると、ペアリングされたスレーブユニットのチャンネルも自動的に切り替わります。

- ニッシンエアシステム (NAS) は、他のワイヤレス機器と混信しないように固有の ID が割り当てられます。
- 電波通信を行っている他のワイヤレス通信システムや他の無線機器との混信を防ぐために、通信チャンネルを切り替えることもできます。
- 本機ご使用の前に、マスターユニット (Air1) とスレーブユニットのペアリング (ID) 設定を行いますが、通信チャンネルはペアリング設定時に自動で割り振られますので、最初はチャンネル設定は特に必要ありません。
- 通信チャンネルの切り替えは他の電波機器による混信が起こる時などに、混信を避けるために行なってください。

■主な仕様

対応カメラ	キヤノン製EOSデジタル一眼レフカメラ ニコン製デジタル一眼レフカメラ ソニー製デジタルカメラ	
ワイヤレス方式	NAS(Nissin Air System) 準拠の電波式	
電波仕様	2.4GHz帯 (ISM/バンド) 技術基準適合認定取得済み	
通信	事前にペアリング設定を行った スレーブユニットと通信	
チャンネル	8チャンネル(本機よりペアリングを行った グループ全体のスレーブユニットを一括にて設定)	
発光グループ	A/B/C 3グループ(グループ別制御、 グループ一括制御、グループ別発光停止が可能)	
電源	単4型2本 (別売)	
発光間隔	最速10回/秒	
発光回数	約3,000回(アルカリ乾電池使用時)	
使用可能範囲	最長30m(使用環境によって異なります)	
動作モード	TTL…E-TTL/E-TTL II (キヤノン用) i-TTL/i-TTL-BL (ニコン用) ADI/P-TTL (ソニー用) マニュアル…FULL~1/128、1EVステップ	
ズーム調整	本機よりスレーブユニットの照射角変更可能 (24/35/50/70/85/105/135/200)	
ストロボ調光補正機能	-2.0~+2.0、1/2EVステップ(TTL)・ 1EVステップ(マニュアル) 各グループ毎及び全グループ一括で調整可能	
後幕シンクロ(キヤノン・ニコン)	対応*	*カメラ側で設定が必要です
ハイスピードシンクロ/FP発光	対応*	
スローシンクロモード(ニコン)	対応*	
赤目軽減モード(ニコン)	対応*	
赤目軽減+スローシンクロモード(ニコン)	対応*	
AF補助光	有効距離0.7~5m	
背面操作部	LEDカラーディスプレイ・ダイヤル式マルチセクター	
ファームウェアアップデート端子	あり(専用端子)	
寸法(幅×高さ×奥行)	約60×50×65mm	
質量	55g(電池除く)	

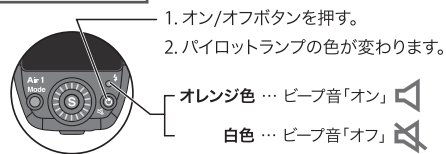
※製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

△ 特定グループを発光停止する場合

発光を停止したいグループが点滅している時に「オン / オフボタン」を押すと発光が停止します。停止した発光を再開する場合は、セットボタンでそのグループを点滅させて、もう一度オン / オフボタンを押してください。

スレーブユニットのピープ音のオン/オフ設定

コマンダー Air1



❗ 注意

※A、B、C いずれも点滅していない状態で操作してください。

ストロボの設置場所について

- 使用可能範囲:最長30m(使用環境によって異なります)
- スレーブユニットはグループAかBかCにセットして、マスターユニットから発光量をコントロールすることが出来ます。
- スレーブユニットは使用可能範囲内であれば、どの位置に設置しても構いません。
- NASは電波式ワイヤレス通信システムです。光学式ワイヤレス通信システムでは受光しにくい状況、例えば遮蔽物がある場所や日中の屋外などでもシンクロしやすいのが特徴です。(ただし使用環境により異なる場合があります)

NISSINは、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。
その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

★最新カメラへのファームウェアアップデート サービスやファームウェア対応状況に関するお問い合わせは、ニッシンホームページ、または、お問い合わせ窓口をご利用ください。

ホームページ: www.nissin-japan.com
TEL. 050-3736-7756